



香港国家安全法がないと中国を治められない？

六月三十日、香港国家安全維持法が全人代で制定、施行された。これは、中国政府に対する「反逆・分離・扇動・転覆」や外国勢力と結びつく事等を犯罪とし、取り締まるもの。早速、七月一日「香港独立」の旗を持っていた人が逮捕された。個人がどうという意見を持つと、言論の自由は民主主義の基本。国民の固い支持を信じるなら、習政権は旗など笑い飛ばせば良い。

西域では

さて、中国にはチベット、ウイグル、内モンゴル等、漢民族とは別の言語、文化をもつ民族がいる。彼らは昔からの漢民族支配から脱して独立を願っている。しかし、ウイグルの住む西域の

天然資源、チベットの水資源等を習近平政権は手放したくない。ウイグルでは数十万人を収容所に閉じ込め洗脳している。「独立」は押さえ込みたいのだ。

旧ソビエトでは

他民族の支配を受けず民族のことは自分で決める権利があるとするのが民族自決権。帝政ロシアはフィンランド、ポーランド、バルト三国をも支配していた。一九一七年のロシア革命でレーニン率いる社会主義政権は民族自決権を認め、これらの国々は独立した。その後、民族自決権は国連でも認められた。習近平政権も民族の独立を認め、経済文化面で協力関係を築けば良い。皆さんはどう思われますか？

ベイブリッジ下の赤灯台

神奈川県横浜市鶴見区
大黒埠頭西緑地から
二〇二〇年六月



ベイブリッジが対岸の本牧埠頭からこちら側、大黒埠頭にかけている。入港する時、海上から見ると右側に赤灯台、左側に白灯台が立っている。夜になると赤灯台は赤い光、白灯台は緑の光を発する。

この絵の右側に横浜港の大黒埠頭、新港埠頭、赤煉瓦倉庫がある。氷川丸も停泊。左の方、大黒埠頭と本牧埠頭の間、航路を進むと東京湾に出る。

飛鳥IIなどのクルーズ船が何度もここを通った。だが、ダイヤモンドプリンセス等、巨大なクルーズ船は橋桁より背が高く通れない。灯台の根元には何人もの太公望が釣り糸を垂れている。釣り船が送り迎える。

註 ダイヤモンドプリンセスは排気ガス規制対応の改修により、二〇二〇年からベイブリッジ下を通れなくなりました。

